

会 議 録
-------

会 議 の 名 称	令和3年度第1回枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画策定部会
開 催 日 時	令和3年7月15日（木） 13時05分から 14時30分まで
開 催 場 所	枚方市役所別館4階 特別会議室
出 席 者	（WEB出席）麻生委員、岩井田委員、小野委員、小幡委員、加我委員、 谷本委員、豊高委員、藤田委員、益田委員、安田委員 （会場出席）松田委員
欠 席 者	委 員：今堀委員、大石委員、深町委員
案 件 名	【案件】 （1）地球温暖化対策をめぐる社会状況の変化について （2）市民・事業者アンケートの実施について （3）ワークショップの実施について （4）計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について （5）今後のスケジュールについて
提出された資料等の 名 称	資料1 地球温暖化対策をめぐる社会状況の変化について 資料2 市民・事業者アンケートについて 資料3 市民アンケート（案） 資料4 高校生アンケート（案） 資料5 事業者アンケート（案） 資料6 枚方市地球温暖化対策協議会会員事業者対象アンケート（案） 資料7 ワークショップの実施について 資料8 計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について 資料9 今後のスケジュールについて（案） 参考資料1 アンケートに対する部会委員からの意見 参考資料2 前回の枚方市環境審議会及び部会における意見要旨
決 定 事 項	・市民・事業者アンケートの内容については、各委員の意見を踏まえ、部会長と事務局で最終決定することを確認した。 ・ワークショップの実施方法について確認した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	－
所管部署（事務局）	環境部 環境政策室（環境保全担当）

## 審 議 内 容

### 1 開 会

藤田 部 会 長：ただいまから令和3年度第1回地球温暖化対策実行計画策定部会を開催します。事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事 務 局：今日は、委員14名の内、11名のご出席をいただいております。従いまして、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。まず、報告事項といたしまして、3名の委員の方について変更がございますので報告させていただきます。まず、市民委員の堀山委員ですが、都合により辞任されましたので、後任の委員として、市民委員の募集の際に次点でありました松田様に委員としてご参画いただくことになりました。次に、関西電力送配電株式会社の石井様が人事異動により、後任の大石様が委員としてご参画いただくことになりました。最後に、大阪府のエネルギー政策課の田村様が人事異動により、後任の岩井田様が委員としてご参画いただくことになりましたのでご報告いたします。なお、本日、大石委員はご都合が悪くご欠席されています。次に、web会議システムを使用しているため、注意事項について、ご説明させていただきます。1点目といたしまして、マイクにつきましては、発言しない時間はミュートにさせていただきますようお願いいたします。また、発言される場合は、マイクをONにいただき、お名前を言っていただいた後、ご発言をお願いします。2点目といたしまして、ビデオについてはONにさせていただきますようよろしくお願いいたします。但し、通信が安定しない場合は、事務局からビデオをOFFにいただくようお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。3点目といたしまして、接続に不具合が生じた場合は、再度、接続をしてください。それでも繋がらない場合は、事前にお知らせしております携帯番号までご連絡ください。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。本日、傍聴希望の方はおられますか。

事 務 局：3名おられます。

藤田 部 会 長：傍聴希望者の傍聴を認めます。傍聴希望者の方に入室してもらってください。

#### 【傍聴者入室】

傍聴者の方をお願いします。本日、配布させていただきました「傍聴にあたって」の内容をご一読の上、遵守していただくよう、お願いします。また、配布資料につきましては、閲覧用となりますので、退出時には、事務局へ返却をお願いします。

それでは、本日の議事を進行させていただきます。本日の部会では、「地球温暖化をめぐる社会状況の変化」と「市民・事業者アンケート」と「ワークショップの実施」また、「計画の基本的事項と施策の方向性の考え方」について、議論してまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。案件に入ります前に、本日の資料の確認を事務局からお願いします。

事 務 局：資料を確認させていただきます。

#### 次第

資料1 地球温暖化対策をめぐる社会状況に変化について

資料2 市民・事業者アンケートの基本的な考え方について

資料3 市民アンケート（案）

資料4 高校生アンケート（案）

資料5 事業者アンケート（案）

資料6 枚方市地球温暖化対策協議会会員事業者対象アンケート（案）

資料7 ワークショップの実施について

資料8 計画の基本的事項と施策の方向性について

資料9 今後のスケジュールについて (案)

参考資料1 アンケートに対する部会委員からの意見

参考資料2 前回の枚方市環境審議会及び部会における意見要旨  
となっています。過不足はございませんでしょうか。

【過不足なし】

### 案件1 地球温暖化対策をめぐる社会状況の変化について

藤田 部会長：それでは、案件1「地球温暖化対策をめぐる社会状況の変化について」、事務局から説明をお願いいたします。

事 務 局：【資料1により説明】

藤田 部会長：ありがとうございます。ただいまのご説明についてご意見等はございますでしょうか。

岩井田委員：温室効果ガスの削減目標について、国の46%、府の40%の目標値と整合性を図りながら設定するとされていますが、国のエネルギー基本計画で示される電源構成や地球温暖化対策計画の部門別削減目標が発表されるのを待ち、府の削減目標の見直しについて検討を行う予定です。見直しにあたっては、府域の市町村に、目標数値やその考え方を共有していく予定ですので、枚方市における削減目標の設定の際にも参考にさせていただきたいと思います。

藤田 部会長：その他、ご意見等はございますでしょうか。

【意見なし】

それでは、案件1は以上とします。

### 案件2 市民・事業者アンケートの実施について

藤田 部会長：案件2「市民・事業者アンケートについて」、事務局から説明をお願いいたします。

事 務 局：【資料2～6、参考資料1により説明】

藤田 部会長：ありがとうございます。事務局からの説明について、ご意見等はございますでしょうか。

岩井田委員：資料3の市民アンケートの間5の選択肢1「農作物の収穫時期あるいは栽培時期が変わったこと」について、一般市民としては実感しにくい項目と感じますが、農業に関わる方（農業事業者）が含まれるという理解でよろしいでしょうか。農業に関わる方（農業事業者）を対象にするのであれば、農作物の高温障害について聞いた方が良いのではないかと感じました。

事 務 局：農業に関わる方（農業事業者）も含まれており、また、家庭菜園をされている方など、生活の中で感じるものがあれば広く聞いてみたいという意図があり、選択肢とさせていただきます。この選択肢については、委員の皆様のご意見もいただければと思っています。

藤田 部会長：この選択肢、その他にご意見等はございますでしょうか。

小 幡 委 員：資料3の市民アンケートの間14の選択肢について、国及び枚方市が行った2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言等の認知度ではなく、別項目として、この宣言に対してどう感じるか、どのような変化があったかを質問する方が良いのではないかと感じました。そうすることで、事業者アンケートでの質問とも合わせることができると思います。

事務局：事業者アンケートでは、このゼロ宣言が行われたことで会社としてどのような取り組みをされているのかを把握する必要があると考えましたが、市民アンケートでは、枚方市のゼロ宣言の認知度を知りたいという意図がありましたが、この聞き方では、2050年に向けて、事業者と市民の意識もしくは行動についての比較ができないため検討させていただきたいと思います。

藤田部会長：ありがとうございます。認知度だけでなく、意識と行動の把握をすることで、市民と事業者の比較や今後の施策の検討など、アンケートで得られたデータを有効に使っていただければと思います。

その他、ご意見等はございますでしょうか。

【意見なし】

後ほど、改めてご意見等をお伺いいたしますが、本日いただいたご意見等を踏まえ、内容については私と事務局とで確定させていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

【各委員の了承】

それでは案件2は以上とします。

### 案件3 ワークショップの実施について

藤田部会長：案件3「ワークショップの実施について」、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局：【資料7により説明】

藤田部会長：ワークショップの目的や進め方等について、ご意見等はございますでしょうか。

小幡委員：ワークショップの方法と、脱炭素やSDGsといったワークショップ前の導入説明はされるのか、教えていただきたいと思います。

事務局：環境基本計画策定時と同様、各生徒が付箋に書いた意見について、グループで議論し発表していただきたいと考えており、詳細については花田会長と大学生と調整をしていく予定です。また、導入説明については、枚方市の地球温暖化対策をめぐる状況等の説明を市職員で行う予定であり、委託業者の協力を得ながら、基本的知識については事前に説明をさせていただこうと考えているところです。

藤田部会長：ありがとうございます。本部会において、ワークショップの実施方法等のご意見があったことについては、事務局から花田会長にお伝えいただくようお願いいたします。また、社会状況の変化を踏まえ、オンライン実施や個別実施など、実施形態を変更する場合がありますので、委員の皆様におかれましては予めご理解をお願いいたします。

その他、ございますでしょうか。

麻生委員：ワークショップ前にSDGsのカードゲーム等を実施することで、脱炭素やSDGsの知識を入れてもらうとともに、その後のワークショップで発言しやすい雰囲気を作ることができ、議論も深まるのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。花田会長や委託業者と相談し、導入部分で発表しやすい雰囲気を作り出せるよう検討させていただきます。

藤田部会長：より活発な意見交換ができると思いますので、検討をお願いします。

その他、ご意見はありますか。

【意見等なし】

それでは、案件3は以上とします。

### 案件4 計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について

藤田部会長：案件4「計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について」、事務局からご説明をお願いします。

事務局：【資料8、参考資料2により説明】

藤田部会長：ただいまのご説明について、ご意見等はございますでしょうか。

小幡委員：「新計画の施策の方向性」の基本方針1について、枚方市としてどこまで活用していくかですが、水素やメタンなどといった新エネルギーへの転換は盛り込んだ方がよいのではないかと感じます。また、カーボンリサイクルや技術革新による二酸化炭素の吸収・固定化など多様な技術革新を、可能な限り活用していくのがよいのではないのでしょうか。

事務局：新エネルギーへの転換については、盛り込んでいきたいと思います。また、カーボンリサイクルや二酸化炭素の吸収・固定化などの今後の技術革新について、国の動きや制度を活用しながら目標達成に向けて取り組んでいく必要もあるため、何らかの形で計画に位置付けていきたいと思います。

藤田部会長：他に何かございますでしょうか。

岩井田委員：まず、本議論は、区域施策編の議論という認識でよろしいでしょうか。2点目として、資料1で地域脱炭素化促進区域や事業の設定とありますが、新しいまちの開発をする際に、脱炭素を念頭におくなど、そのような検討はされているのでしょうか。

事務局：区域施策編の策定について本部会で議論をさせていただき、そのなかで、市として取り組むべきものなどを検討し、事務事業編は別途策定してく予定です。また、地域脱炭素化促進区域や事業の設定等の方向性や考え方については、計画で盛り込んでいきたいと考えています。

藤田部会長：ありがとうございます。引き続き、ご質問やご意見を伺っていきたいのですが、いかがでしょうか。

【意見なし】

では、私からですが、参考資料2の前回部会でいただいたご意見に関する説明がなかったのですが、緑の質をどうみていくのか、バイオマス資源の利活用についてなど、回答できる範囲で結構ですので、現時点での検討状況を事務局から教えていただけますでしょうか。

事務局：まず、緑の質をどうみていくのか、どう施策に活かしていくのかについては検討中ではありますが、方向性は示していきたいと考えています。また、各分野の指標設定についても検討していきたいと考えています。次に、バイオマスについてですが、本市では、清掃工場でごみ発電を行っており、かなりの発電量があるため、地域でどう活用しているのか、また、東部の里山のバイオマス資源をどう活用できるのか検討していきたいと考えています。

加我委員：現在は、市街地が拡大しきっており、今ある里山や街路樹など、場所としては保たれた状態です。次の段階として、そこにある樹木樹林が健全に育成されるように手を加えたり、それらの健全性といった視点が必要だと感じます。また、基本方針3において、緑の保全のみでなく、創造や創出、管理などといった視点を盛り込むことで、地球温暖化対策に対する緑の効果が発揮されるのではないのでしょうか。

事務局：今ある里山や街路樹の管理や健全に育成されているかという視点について、計画に盛り込んでいくよう検討していきたいと思います。

小幡委員：2050年の二酸化炭素排出量ゼロに向けて、バックキャストという方法で、逆算して2040年、2030年までにどうしていくのかを考えていただきたいと思います。市民アンケートでの項目でもありますが、マイバック100%、車はかなりの割合で電動車等を導入しなければ、到底達成できません。枚方市としてどこまでできるのかを考え、バックキャストで上乘せするなど、何か考えなければ難しいと思います。

また、目標達成に向けて、予算の確保も必要ですので、そのような面からも考えていく必要があります。事業者として、どこまで取り組めば達成できるのか、イメージしやすい形で示していただきたいと思います。

藤田 部 会 長：計画を策定したら終わりではなく、バックキャストिंगの手法も検討していただきたいと思います。

事 務 局：国や府の目標、その中での枚方市としての役割、さらにはバックキャストिंगなど、様々な手法により目標設定を検討していきたいと考えており、委員の皆様の意見もお伺いしながら設定していきたいと考えています。

藤田 部 会 長：ありがとうございます。その他にご意見等はございますでしょうか。

【意見等なし】

それでは、案件4は以上とします。

### 案件5 今後のスケジュールについて

藤田 部 会 長：案件5「今後のスケジュールについて」、事務局からご説明をお願いします。

事 務 局：【資料9により説明】

藤田 部 会 長：ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について、ご意見等はありませんでしょうか。

【意見等なし】

ご意見等はないようですので、本日ご発言いただいていない委員の皆様の感想等をお伺いできますでしょうか。

益田副部会長：感想になりますが、一般の市民向けのアンケートであれば、示していただいた内容で良いのかと思いました。

安 田 委 員：アンケートの内容についての意見等はありませんが、回答率が気になります。Webでアンケートを受け付けることも検討が必要かと思います。

小 野 委 員：2050年のカーボンゼロに向けて、各自治体が悩まれているなかで、できることを積み上げて足りないものをどうしていくのか、バックキャストिंगという視点について参考になりました。

豊 高 委 員：ワークショップにおいて、枚方市だけでなく地球規模で温暖化について考えていただき、課題解決に向けて取り組める人材になっていただきたいと思います。また、目標に向けての進行管理もしていただければと思います。

松 田 委 員：2050年の二酸化炭素排出ゼロに向けて、かなりの量のCO<sub>2</sub>を吸収しなければ実現は難しいのではないかと思います。また、市民としては、緑で溢れる枚方市が実現できればと感じました。

事 務 局：貴重なご意見をありがとうございました。2050年二酸化炭素排出量ゼロに向けて、2030年の目標設定、目標達成するには何ができるのか検討し示していきますので、各委員の皆様のご意見をいただきながら実効性の高い計画を策定していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

藤田 部 会 長：本日の案件はこれで以上となります。事務局から連絡事項はありますでしょうか。

事 務 局：今後の予定ですが、8月に環境審議会、9月に部会を開催させていただく予定ですのでよろしくお願いたします。

藤田 部 会 長：それでは、令和3年度第1回地球温暖化対策実行計画策定部会を終了いたします。